

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）2014 年度教育研究報告書

事業課題名	（提携先研究機関からの学生の受け入れ） 交流協定留学型の中国人民大学学生受入(2 人×6 ヶ月)
代表者名	矢野 剛（経済学研究科・准教授）
事業概要 (600 字程度)	<p>2010 年 10 月に締結された京都大学経済学研究科と中国人民大学経済学院間での学生交換協定に基づき、2 名の人民大学の学生を 6 ヶ月の短期留学生として経済学研究科で受け入れた。1 名は修士課程 1 年生、他の 1 名は学部 4 年生の学生であった。この 2 名の短期留学生は、経済学研究科の英語教育プログラムである東アジアコースに特別聴講生として在籍し、同コースの多くの科目を履修し単位を取得した。この単位取得の基準は、通常の東アジアコース院生と全く同じものを使い成績評価をおこなった。2 名の短期留学生は留学中概ね良好な学業成績を修めている。2 名の受入学生の選考基準は、英語教育プログラムを受けるための英語力を必要条件として、人民大学内での GPA で測られた学業成績アチーブメントにおいて各学年においてトップクラスに入っていることを確認し選抜した。</p> <p>また京大内で彼らが取得した単位は、人民大学経済学院における単位としても認定されることを人民大側と確認している。また 2 名の短期留学生が本国帰国後に、彼らと事業担当教員が個人的に面会をおこない、留学生本人もこの短期留学が大変有意義であり満足できる体験であったと述べたことも付記したい。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>世界展開力事業としては 2 回目・2 年目となる中国人民大学からの交換留学生受入であった。1 年目に作られた人民大学からの交換留学生受入の具体的なスキーム・体制がよく機能し、国際コーディネータ他関連スタッフの尽力に支えられ事務上の手続きがスムーズにおこなわれるようになったことが第一の成果であった。これは、今後想定されている京大からの人民大への学生派遣の基礎作りともなっている。また、上でも触れたように今回受け入れた留学生達にとっては京大での教育・京都での生活は大変刺激的であったようで、留学期間中にアカミデアでのキャリアを追求するために、大学院への進学を決めた学生もいた。また彼らの京大経済学研究科での学業上のパフォーマンスも良好であり、優秀な学生を受け入れた結果であると考え。更に受入留学生中の 1 人はかなり高いレベル日本語能力をもつ学部生であり、日本語で提供される京都大学経済学研究科のコアコース(大学院生での学習・研究の基礎となる諸科目)も受講しており、大学院の理論的な基礎科目を日本語で受講するという、経済学上のレベルと語学のレベルを大学院入学前に体験できたことは、当該学生の今後の大学院生としての学業において良い準備になったと考える。</p> <p>受け入れた京大側の大学院生にとっても、人民大の大学院生及び大学院に進学する予定の 4 年生の学生と切磋琢磨できたことは、彼らの学業上の向上心を大いに刺激したという点での成果であった。具体的には授業における論文購読・個人研究報告において、互いの論文報告・研究成果報告に積極的にアグレッシブな質問を提起し、それに対するリプライ・ディフェンスを本格的なセミナーさながらに展開できたことは、授業の質の向上に資するところが大きかった。</p> <p>最後に交換留学生が京大内で取得した単位を、人民大学経済学院における単位としても認定されること及びその認定形態、について人民大と再確認できたことも成果の一つである。</p>